

第7回理科系班OB会に19人参加

第7回理科系班OB会が8月28日（日）東京・中央区銀座の「浜の母や」で開催され、恩師の清水周先生（47期）を筆頭に化学班10人、生物班4人、物理班2人、天文・電気班が各1人、合計19人が参加した。関東以外では長野市、上田市、小諸市、北佐久郡立科町、北杜市から計6人が来られた。

冒頭に大塚訓喜氏（57、長野市朝日病院リハビリセンター長）による「骨と軟骨」について小講演があった。骨を構成する主な要素は、骨を破壊して吸収する破骨細胞、骨を産生する骨芽細胞、骨の機能を維持する骨細胞、コラーゲン繊維、ハイドロキシアパタイトからなり、3－4年で新しくなる。宇宙滞在などで骨を使わないと、細くなる。

間接軟骨の成分は75%が水で、軟骨細胞が4%、あとはコラーゲン繊維とプロテогリカン凝集体（ヒアルロン酸、コンドロイチン、ケラタン酸）である。間接軟骨は損傷や欠損が生じてても、組織の自然修復は起こらない。

グルコサミン、ヒアルロン酸、コンドロイチンなどのサプリメントを売っているが、飲んでも効果はまったくない。との話に参加者から「以前から飲んでいるが調子がよい」との意見も出た。

毎年、8月最終日曜日に同じ場所で行っているので、少しでも理科系班に在籍された方のご連絡願います。連絡先：高橋福幸（yoshiyuki-taka@mte.biglobe.ne.jp）

参加者：清水周(47)、生物班・福澤譲時(51)堀内弘栄(51)吉沢壮夫(53)堀内忠久(53)化学班・中島宏(51)大塚教夫(53)児玉三明(56)山浦俊一(56)大塚訓喜(57)宮原迪雄(57)高橋福幸(58)萩原清人(59)清水文影(82)小平明尚(82)物理班・濱村邦夫(56)佐藤之俊(77)電気班・石井則男(64)天文班・滝沢裕雄(82)

石井則男

